

## 第 2 回 久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会 議事録

日時：令和7年10月29日（水）14:00～16:00

場所：久米島博物館講堂

次第	配布資料
1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 議事 (1)本町が目指す教育について (2) 先進事例調査 (3)学校教育施設の現状について (4)久米島町立学校等適正規模・適正配置の検討 (5)その他 4. 閉会	資料1:久米島町教育大綱 資料2:先進事例調査 資料3:適正規模・適正配置方針に係る現状整理 資料4:久米島町立学校等適正規模・適正配置検討資料  参考資料1:人口推計について 参考資料2:子ども子育て支援制度

### 1. 議事

#### (1) 本町が目指す教育について

(事務局より【資料1】久米島町教育大綱について説明)

委員	教育大綱は主にどの課で担当しているのか。
事務局	教育大綱については、各教育委員会が定めることを義務付けられている。町長部局と教育委員会で合同会議を開き、策定することになっている。
委員	資料を全体的にみると統廃合のメリットしか見えないが、現在のデメリットは何なのか。また複式学級が初めての職員も多く、不慣れなことで子供たちの教育上不利益になることも考えられる。保護者の立場から、できる限り早急に改善してほしいと考える。
委員	教育大綱の下には具体的な施策が紐づくのか。
事務局	その通りである。
委員	統廃合した後の教育予算が何に使われるのかが大切である。新築・増築といった施設整備の方法や統廃合がなぜ進まないのか、どのようなプロセスが必要なのか具体的に知りたい。
委員	球美中学校も久米島西中学校も次年度から各学年 1 学級となる。昨年から両中学校で頻繁に話し合いの場を設け、合同で取組めることを模索している。また、部活も合同でないとできない状況である。美術と音楽の教員は両中学校を掛け持ちしているため、所属する中学校の生徒を落ち着いて担当することができない状況である。技術と家庭科教員は不在のため、他科目の教員が代理をしている。今回の教育大綱内に集団の中の教育の記載があるように、中学校も統合した方が良いと考える。
委員	教育大綱内に久米島高校の記載がないことが気になっている。町は久米島高校

	とも連携を行っているため、一部記載を加えてはどうか。
--	----------------------------

## (2) 先進事例調査

(事務局より【資料 2】先進事例調査について説明)

委員	意見はみな同じかと思う。統廃合については賛成である。大宜味村の事例内に統廃合までに 36 年かかったと書いてあるが、理由を教えてください。
事務局	小学校については通学距離の問題もあったのではないかと想定している。また、行政内の問題もあったかもしれない。継続して取り組んでいけば 5 年程度で統合している事例もある。

## (3) 学校教育施設の現状について

(事務局より【資料 3】適正規模・適正配置方針に係る現状整理について説明)

委員	特別支援を必要とする子どもが増加しているとのことだが、教育委員会等に聞いてみると、幼いころから小児科医と連携し密な診断を行っているとのことの良い取り組みだと思う。
委員	不登校の児童生徒数に関するデータが無いことが気になった。特別支援学級と同様に検討することが理想的な統廃合につながると考える。
事務局	不登校児童生徒について、3 年前から自立支援サポート教室を設置している。保護者の面談や学校、小児科の先生方とも連携し、現在中学生 6 名、小学生 2 名が活用している。今後も子供の居場所を増やせるよう、継続していきたい。

## (4) 久米島町立学校等適正規模・適正配置の検討

(事務局より【資料 4】久米島町立学校等適正規模・適正配置検討資料について説明)

委員	認定こども園については、当審議会でどこまで決めるものなのか。各子ども園やこども未来課の審議会で具体的に決定するのか、審議会資料に認定こども園整備計画案の記載があったため確認したい。また、実際に統合を進める際、既存施設では教室数等が不足するため、改修の必要性があると想定できる。具体的な計画については、別で検討するという認識で良いか。
事務局	幼稚園と保育園のあり方について、住民との協議の後に決定するのが良いと考えている。進め方も含め、今後話し合いの場を設けたいと考えている。
事務局	久米島町立幼小中学校の適正規模・適正配置に係る基本方針(案)について、修正意見があれば後日にでもいただきたい。
委員長	【】内に「望ましい」という表現を加えるのは基本方針として適切ではないと思うため、内容を再確認いただきたい。
事務局	承知した。

## 【子ども子育て支援制度・認定こども園設置について】

(事務局より【参考資料 2】子ども子育て支援制度について説明)

委員	認定こども園の設置については賛成である。設置を実現できるよう、具体的な方法を詰めていかなければならない。
----	--

委員	認定こども園について、受け入れする幼児の年齢や期間について様々な形式があるが、進める理由等を明確に示すことができればよいと考える。また、認定こども園を設置することにより、以前より園児数や年齢の幅、特別支援を必要とする園児が増える中で、子どもを預かる責任を民間だけに任せて良いものか不安を感じている。
委員	認定こども園について、2年保育とするか3年保育とするかで職員の人員確保が必要になる場合がある。現状、人員確保が一番の問題である。また、認定こども園の職員は保育園と幼稚園両方の免許が必要となるという課題もある。これらについては子ども子育て会議の中で議論できればと思う。
事務局	認定こども園の整備については子ども子育て会議にて検討しながら本審議会にも検討内容を共有したいと考える。

### 【幼稚園・小学校統合による教育環境と職員配置の最適化について】

委員	現在働いている幼稚園職員に統合した際の職員負担を聞いたところ、十分かつ適切な職員配置数であれば、1園に統合しても運用可能との意見があった。園児の教育環境だけではなく、職員の適切な人的配置についても同様に検討が必要である。期間としては、2～3年保育が子供の成長にも望ましいと考えている。認定こども園への移行を進めることで、子供の学習環境や適切な職員数の配置が実現できると期待している。
委員	小学校について、複式学級の解消と同学年複数学級の実現には1校への統合が必要である。同学年複数学級とすると1学年に2人の職員で学年を運用することになるので、職員の心理的負担も軽減できる。小学校1校の運用が教育基本方針に合致した選択肢だと考えている。他の小学校校長へも意見を伺ったが、おおむね同じような意見であった。

### 【小学校・中学校の統廃合について】

委員	複式学級の問題や防災上の安全性の面も考えると、適正化を急ぐ必要があると考える。小学校については校長会でも1校にする意見もあるが、個人的には具志川と仲里に2校設ける案も良いと思っている。
委員	中学校については、1校に統合するのが良いと考える。島の中央にあたる博物館付近は海拔も高く、安全面から理想の場所だと考える。
委員	統廃合に関しては必要だと考えているが、1校か2校か迷う部分である。人数的には1校が良いが、その場合のデメリットや逆に2校とした場合のメリット・デメリットを施設修繕も含めたシミュレーションで検討してはどうか。また、現場で働く先生方の意見を重く受け止め、町民の不安も解消できるよう説明を行いながら統廃合を進めていければと思う。
委員	統廃合については、子どもたちが切磋琢磨し成長できることを考えると大事だと考える。

## 2. 閉会